学校番号	3018

令和２年度　　家庭　　科

教科	家庭科	科目	家庭基礎	単位数	（２）単位	年次	（１）年次
使用教科書	新家庭基礎21（実教出版）						
副教材等	2020最新生活ハンドブック 資料＆成分表　（第一学習社）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

「家庭基礎」では、自立の意味と自立の基礎となる食・衣・住、そして消費生活についての知識や技術を習得するとともに、その背景にある社会や文化、政治経済のしくみを学びます。それらをもとに、家族や地域に住む、子ども、高齢者、障がい者、社会的マイノリティなど、さまざまな人たちについて学び理解するとともに、生活課題を総合的・国際的な視点でとらえ、探求的・主体的に取り組み、よりよい生活や社会を築くための実践的な力を培っていきます。実験・実習、グループディスカッションなどの体験学習を通して実践的に学習します。積極的に取り組んでください。

２　学習の到達目標

人の一生と家族・家庭、子供や高齢者とのかかわりと福祉、消費生活，衣食住などに関する知識と技術を総合的に習得させ家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。興味・理解を深めやすい実験・実習・グループワーク・ＩＴの活用など体験的な学習を多く取り入れる。実験・実習に際しては事故防止のため細心の注意を図る。レポート・感想文など毎回の授業で、学習上の課題の把握に努め、振り返り学習、学習評価の工夫に生かす。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などについて関心をもち、その充実向上をめざして主体的に取り組むとともに、実践的な態度を身付けている。	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などについて課題を見いだし、その解決をめざして思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を身につける。	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などを主体的に営むための基礎的・基本的な技術を身につけている。	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識を身につけている。
評価方法	学習意欲、グループディスカッションの状況観察 ワークシートの提出と記述 実習作品 実習・実験レポート	定期考査 学習意欲、グループディスカッションの状況観察 実習作品 ワークシートの記述 実験・実習レポート	学習意欲、グループディスカッションの状況観察 ワークシートの提出と記述 実習作品 実習・実験レポート	定期考査 学習意欲、グループディスカッションの状況観察 実習作品 ワークシートの記述

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。

学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期中間	自立して生きる	①「自立する」とは					a:人間のライフステージごとの発達課題について理解し、青年期は自己のアイデンデンティを確立する時期であることを認識している。	定期考査 学習意欲、グループディスカッションの状況観察 ワークシートの記述 実験・実習レポート
		生き方の多様化と人生について		○			b:よりよい人間関係を築くための課題を見いだし、自己実現をはかるためには自立した人間になることの必要性を理解している。	
		青年期と自立	○			○	c:事例研究、グループワークを通して実践的に学習している。	
		性的自立と人間関係			○		d:自立した社会生活を営むための生活課題に対応した意思決定の必要性を理解している。とりわけ消費生活においては、契約の重要性および消費者保護の仕組みについて理解している。	
		生活的自立と社会的・経済的自立 (住生活・消費生活)	○			○		
		②楽しく着る					a:着装、被服材料、被服の構成、被服製作、被服管理などの衣生活の科学と文化に関心をもち、意欲をもって学習活動に取り組んでいる。	定期考査 学習意欲、グループディスカッションの状況観察 実習作品 ワークシートの記述
前期期末		衣服の選択と自分らしい衣生活	○				b:着装、被服材料、被服の構成、被服製作、被服管理などについて課題を見出し、その解決をめざして思考を深め表現している。	
		衣服の表示の見方				○	c:主体的に衣生活を営むために必要な衣服製作、衣服計画、衣服管理などの技術を身につけている。	
		衣服の材料と管理		○			d:着装、被服材料、被服の構成、被服製作、被服管理などの衣生活を科学的に理解し、安全と環境に配慮した衣生活を送るために必要な知識を身につけている。	
		エプロン製作			○			
		③楽しく安全に食べる					a:食生活の成り立ちおよび変化について知り、現代の食生活の問題点を探る。	
		栄養素のはたらきと食品	○	○	○	○	b:食生活について、栄養素の学習を通して考え、自分や家族の食生活を見直す。	
後期中間		食品の選択と安全性	○	○	○	○	c:主体的に食生活を営むために必要な情報を収集・整理し、食生活の自立に必要な基礎的な調理ができる。	定期考査 学習意欲、グループディスカッションの状況観察 ワークシートの記述 実験・実習レポート
		食糧の輸入と生産	○	○	○	○		
		食事の計画と調理実習	○	○	○	○	d:健康で安全な食生活を営むために必要な知識と態度を身につけている。	
	支え合って生きる	①多様化した社会を生きる	○				a:家族・家庭についての学習を自分の問題としてとらえ、生涯を見通して考えようとしている。	
		社会の変化と家族の変化		○			b:家族・家庭と社会のかかわりについての課題を見出しその解決をめざして思考を深め、適切に表現している。	
		家族の現状と課題	○				c:事例研究、グループワークを通して実践的に学習している。	
		家族をめぐる法律				○	d:現代の家族の特徴や機能について、歴史的・文化的・社会的変化との関連から理解している。家族に関する法律の基本的な趣旨を理解している。	
		多様な生き方パートナーシップの保障			○			
後期期末		②子どもと生きる					a:保育の重要性や社会の果たす役割について考えようとしている。	定期考査 学習意欲、グループディスカッションの状況観察 ワークシートの記述 実験・実習レポート
		子どもを取り巻く地域と社会の課題	○					
		子どもの権利			○		b:遊びの意義や児童文化の子どもへの影響をについてまとめることができる。	
		子どもの心身の発達				○		
		遊びの意義と役割		○			c:子供の権利や福祉について，具体的な法律や制度などの情報を収集・整理することができる。	
		子どもの保育の場	○				d:乳幼児期が人間の発達段階において重要な時期であることを理解している。社会全体で子育てを支援する必要性を理解している。	
		親になることの意味	○					
		③支え合い共に生きる					a:社会保障の意味とそのしくみについて知り、共生社会における社会の一員として主体的に行動しようとしている。	
		社会保障の意義と日本の制度	○				b:共生社会実現のため、社会の現状と課題について考え、まとめることができる。	
		社会的弱者・マイノリティ理解と福祉			○		c:社会的弱者・マイノリティの権利や福祉について、具体的な法律や制度などの情報を収集・整理することができる。	
		貧困と貧困対策と現状		○			d:日本の社会的セーフティネットのしくみについて知り、支えあう社会の理念とその創造について考え、共生社会の重要性について理解している。	
		福祉理念と共生社会				○		

※　表中の観点について　　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画(例)作成上の留意点
・原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価することとなるが、学習内容(小単元)の各項目において特に重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について○を付けている。